

資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)

ファンドの概要

設定日 2009年11月20日
 償還日 2019年6月17日
 決算日 原則毎月17日
 分配時期 決算日毎

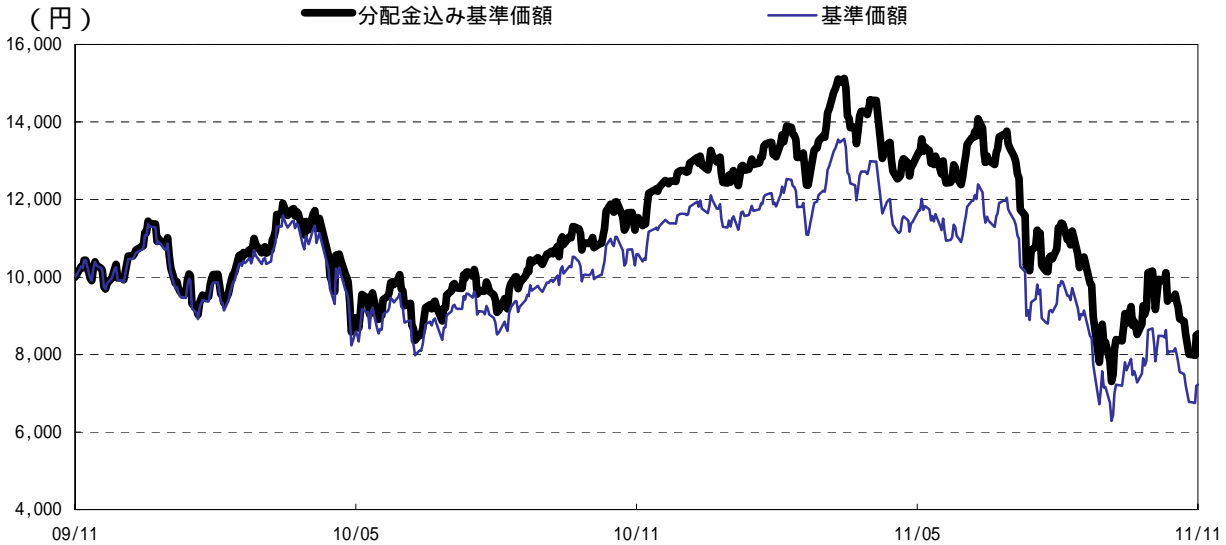
ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
2. 資源国通貨での実質的な運用により、為替ヘッジプレミアム（金利差相当額）などの享受が期待できます。
3. 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

運用実績

当レポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。
 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

< 基準価額の推移 >



分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。
 基準価額は、信託報酬（年率1.76%（税抜1.71%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 7,224円
 純資産総額 : 11.61億円

< 基準価額の騰落率 >

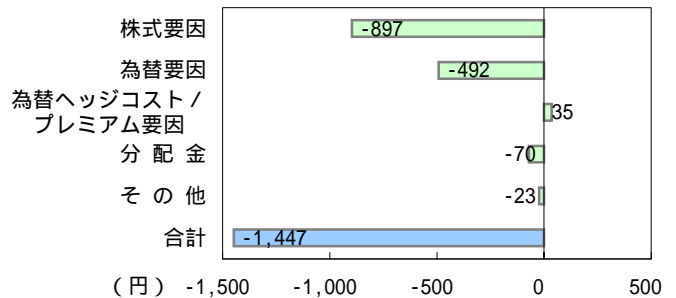
1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-15.94%	-24.06%	-35.47%	-25.15%	-	-14.64%

基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

< 資産構成比率 >

ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス	99.1%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%
現金・その他	0.8%

< 基準価額騰落の要因分解（月次ベース） >



上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

< 分配金実績(税引前) >

設定来合計	直近12期計	10・12・17	11・1・17	11・2・17	11・3・17	11・4・18
1,680円	840円	70円	70円	70円	70円	70円
		11・5・17	11・6・17	11・7・19	11・8・17	11・9・20
		70円	70円	70円	70円	70円
		11・10・17	11・11・17			
		70円	70円			

分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラスのパートフォリオの内容

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報です。当外国投資信託の数値です。比率は組入株式評価総額に対するものです。

< 株式組入上位10銘柄 > (銘柄数: 69銘柄)

	銘柄名	国名	業種	比率
1	BHP Billiton Ltd	オーストラリア	素材	4.32%
2	Exxon Mobil Corp	アメリカ	エネルギー	4.02%
3	Chevron Corp	アメリカ	エネルギー	3.95%
4	Potash Corp of Saskatchewan In	カナダ	素材	3.59%
5	Freeport-McMoRan Copper & Gold	アメリカ	素材	3.26%
6	Royal Dutch Shell PLC	イギリス	エネルギー	2.83%
7	Rio Tinto PLC	イギリス	素材	2.61%
8	Monsanto Co	アメリカ	素材	2.56%
9	Occidental Petroleum Corp	アメリカ	エネルギー	2.41%
10	Total SA	フランス	エネルギー	2.30%

< 業種比率 >

業種	比率
エネルギー	52.5%
素材	44.7%
農業・食料	2.0%

< 株式組入上位5カ国 >

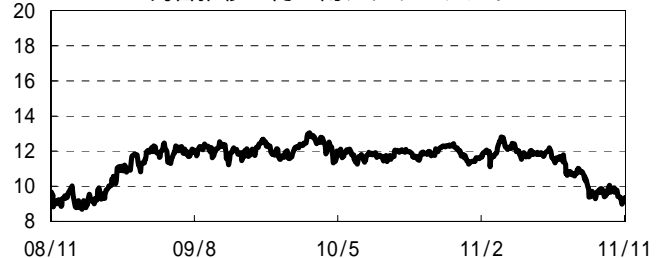
	国名	比率
1	アメリカ	55.4%
2	カナダ	14.8%
3	イギリス	12.3%
4	オーストラリア	4.3%
5	ブラジル	3.8%

ご 参 考

< 利回り >

株式配当利回り(A)	2.02%
為替ヘッジプレミアム/コスト(B)	5.12%
米ドル短期金利	(0.27%)
南アフリカランド短期金利	(5.40%)
(A)+(B)	7.14%

< 為替推移 円/南アフリカランド >



三菱東京UFJ銀行発表の対顧客電信売買相場の仲値(TTM)です。

運用コメント

当月の市場動向

欧州の債務危機問題の広がりや欧州を中心としてグローバルな景気減速懸念などを背景に、11月の株式市場は軟調となりました。天然資源やコモディティは個々の商品でパフォーマンスに格差が生じ、原油、金、コーヒーなどが相対的に堅調となった一方、天然ガス、ニッケル、アルミニウム、ココアなどの価格は大きな値下がりとなりました。

主要穀物価格(トウモロコシ、小麦、大豆、砂糖)は、米国農務省が発表した2012年の穀物供給見通しがアナリストによる過去の予想を上回ったことを受けて値下がりました。一方、原油価格は需要の低迷や欧州の債務危機を巡る懸念などがあつたものの、在庫水準や中東地域での騒乱の継続による供給面での不透明感などが市況の支援要因となりました。また、金については、南欧諸国を中心とした債務返済等に対する不確実性の高まり等を受けた主要中央銀行によるドル資金の供給拡充や、米国の財政赤字削減能力への不透明感の広がりなどが金価格の支援要因となりました。一方、天然ガスについては、米国の一部に到来した寒波による暖房需要の拡大の兆候が現れたなか、業界全体の生産水準の増加が嫌気されました。

南アフリカランドは円に対して下落しました。同国の失業率は事前予想以上に良好だったものの、欧州の債務危機の拡大に起因した商品市況と株式市場の下落が嫌気されました。

運用概況

株式、為替ともにマイナスの寄与となり、ファンドの基準価額は値下がりしました。

主な投資行動としては、金鉱銘柄のポジションをいくつか変更しました。株価の値上りを受けてアフリカで事業を展開する金鉱銘柄の投資比率を引き下げた一方、埋蔵量の増大を図るべく探査・開発を積極的に推進しているカナダの銘柄などのウェイトを引き上げました。

一方、第3四半期の決算報告が事前予想を大幅に下回り市場で失望されたことを受けて、ポートフォリオに組み入れた米国の農業関連銘柄のポジションを縮小しました。農業の業界レポートによれば、ブラジルの砂糖の収穫で問題が生じたことが示唆されており、同社の業績予想の上方修正の期待が後退する可能性があります。また、株価指標が魅力的なバリュエーションを評価して、米国の石油・天然ガス生産探査銘柄を買い増しました。同社の2012年の原油・天然ガス生産量は堅調な伸びとなる見通しです。

今後の運用方針

株式市場は不安定な展開が続いており、投資家の関心は足元の欧州のソブリン債務危機に集中しています。米国の経済指標をみると米国景気は持ち直しに転じているようですが、欧州は悪化しつつあるようです。新興市場のいくつかの国は経済成長を支えるための金融政策と財政政策の緩和を開始しました。天然資源に対する需要は、新興市場のおかげで全般に堅調な推移が予想され、このことが資源を生産する企業の株価を下支えすると予想されます。石油サービス銘柄は、最近アフリカと南米におけるオフショア探査の成功の恩恵を受けており、ファンドは引き続きこれらの銘柄を選別的に組み入れることを検討します。また、金地金価格と金鉱山銘柄のパフォーマンスとの間の非連動は続いていますが、格差は今後縮小する見通しであり、これは金鉱山銘柄にとっての好材料と考えています。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込み

商品分類	追加型投信 / 内外 / 株式
お申込単位	お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	取得申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2019年6月17日まで（2009年11月20日設定）
決算日	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。	
<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>	
お申込手数料	お申込手数料率（スイッチングの際のスイッチング手数料を含む。）は、 <u>3.675%（税抜3.5%）</u> を上限として販売会社が定める率とします。分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>	
信託報酬	純資産総額に対して年率1.76%（税抜1.71%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.05%（税抜1%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や運用内容の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
その他費用	組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社） 監督当局の認可等を前提として合併し、2012年4月1日付で三井住友信託銀行株式会社となる予定です。
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 http://www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項**リスク情報**

- 投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に株式（預託証券を含みます。以下同じ。）を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

為替変動リスク**ブラジルリアル・コース**

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替ヘッジを行なうため、ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルリアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルリアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルリアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルリアルの金利差相当分のヘッジコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

南アフリカランド・コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、南アフリカランド買いの為替ヘッジを行なうため、南アフリカランドの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が南アフリカランドに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、場合によっては南アフリカランドと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、南アフリカランドの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと南アフリカランドの金利差相当分のヘッジコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

オーストラリアドル・コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、オーストラリアドル買いの為替ヘッジを行なうため、オーストラリアドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がオーストラリアドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはオーストラリアドルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、オーストラリアドルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとオーストラリアドルの金利差相当分のヘッジコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- ・当資料は、投資家の皆様に「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース>（毎月分配型）」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：社団法人投資信託協会
 社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
住友信託銀行株式会社	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第5号			
中央三井信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第21号			